

茨城県建築士会 青年委員会
製図見学会実施報告

開催日 2024年8月31日（土）10時～12時

場所 茨城キリスト教大学 11号棟

参加者 運営スタッフ : 櫻井、谷田川、清水、林、中島、君島、事務局（黒澤）
参加者 : 応募27人 → 参加 25名（2名欠席）

参加アンケートの実施と結果

○一級建築士に合格された場合、建築士会に入会したいと思いますか。

はい : 8人

いいえ : 0人

考えていない : 12人

既会員 : 2人

その他 : 1人

未回答 : 2人

以上の結果となっています。

○質疑

1、4階研究室の廊下幅は基本的に2.5mで良いのでしょうか。

ゼミ室間の中央の広いスペースを廊下幅として計画します。

大学なので円滑化誘導基準に適合させる必要性はないので、1.6m以上を確保しています。

製図試験では中廊下でも有効幅員1.8m以上を確保しておいた方が良いでしょう。

2、1階ラウンジについて、面積計画の考え方について教えてください。

学生数に単位面積を掛けたのでしょうか。おおまかな面積の要望があったのでしょうか。

また、トイレの便器数はどのように算出したのでしょうか。

実務での計画なのでラウンジやトイレの場所と面積は決めていたと思います。

その面積からラウンジの座席数やトイレの衛生器具の数を算出したと思います。

製図試験の問題は答案例のプランから問題を作成するので、

各資格学校の単位面積で算出して良いでしょう。

3、キャンパス全体の中で11号棟の立ち位置はどのように考えられているでしょうか。

主に講義で使う別棟で、学長室などがある本館は別にあります。

「茨城キリスト教大学 キャンパスマップ」で検索すると
製図試験の設計条件で書かれているような11号館の説明があります。

4、利用者のアプローチ動線を教えてください。

エレベーターは主に誰が使うのか、1台で足りるのか。

カフェラウンジへのアプローチはどこからでしょうか。

学生は講義の時は主にエレベーター横の階段を利用します。

エレベーターは主に4階のゼミ室を利用する人が利用します。

屋内ラウンジのサッシは折り畳み式で開放する形式で、そこからカフェラウンジを利用します。